

歯・口の健康についての意識を高め、
自らよりよい生活習慣を身につける生徒の育成

宮城県立支援学校小牛田高等学園

6 学級 48 名

1. 研究の目標やねらい

歯・口の健康についての意識を高め、自らよりよい生活習慣を身につける生徒の育成。

2. 実施した主な活動

この事業で特別に実践した内容は以下の 7 項目である。

- 学校・寄宿舎において定期的な歯ブラシのチェックと交換(※1)
- 歯の染め出し(手鏡など)による歯垢の確認 (※3)
- 掲示物による視覚教材による啓発(※2)
- 宮城県の学校歯科医会の事業『歯とお口の健康教室』への参加
- 体脂肪計による計測(生体インピーダンス法)
- 公開研究発表会においての講演会
- その他は健康講話や昼休みの時間を利用した個別の歯磨き指導など(※3)



※1 定期的な歯ブラシの交換



※3 昼休み時間を利用した個別の歯磨き指導



※2 掲示物による視覚教材による啓発

上記の内容以外に本校では開校時から行ってきた内容として以下のものがあげられる。
また本校には自立のために生活訓練の場である寄宿舎が併設されているのでそこでの活動と学校での活動を分けて記載する。

(1) 学校

- ① 定期的な身体測定(身長と体重)
- ② 生活单元、家庭などの授業での食育指導
- ③ 放課後の体力トレーニング(※4)
- ④ 食後の歯磨き



※4 体力トレーニングの様子

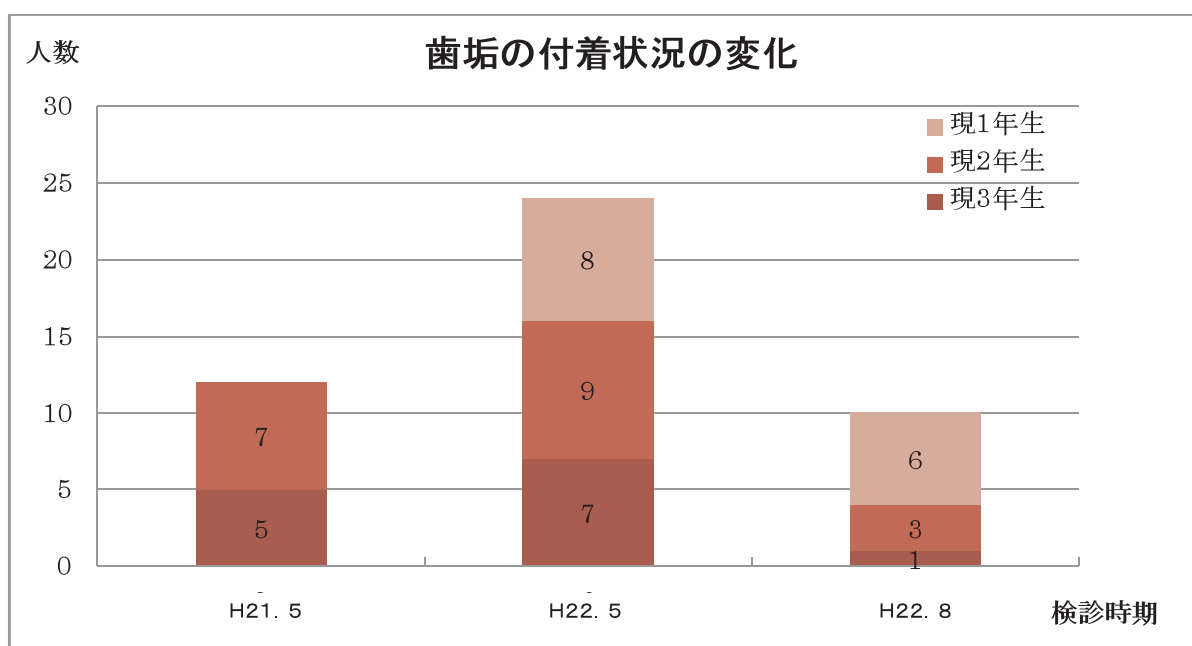
(2) 寄宿舍

- ① 食後の歯磨き
- ② 集会での食育指導
- ③ 定期的な運動実践
- ④ 保護者と寄宿舍指導員による生徒の生活習慣についての定期的評価

3. 成果や課題等

(1) 成果

- ① 歯科検診結果から本事業の実施一年目と二年目で大きな変化として、歯肉炎・歯垢の付着状況（※5）が改善されつつある。
- ② 定期的な運動の実践、食生活を意識した生活ができるようになり、形態的な健康指標である肥満度に改善傾向がみられた。
- ③ 家庭での生活習慣の改善、歯磨きについての関心の高まり、歯みがき回数の増加、磨き方の改善、歯ブラシの定期的な交換もなされるようになった。



※5 歯垢の付着状況の変化

(2) 課題

- ① 今回の結果を踏まえて、校医、近隣の歯科医と協力して継続的に指導する必要がある。
- ② 今後も適切なブラッシング指導を継続的に実践していく必要がある。
- ③ この事業によって上記のような効果がえられた。しかし本校生徒の家庭の経済状況は非常に厳しく、定期的な歯ブラシの交換ができない家庭が多く何かしらの手立てが必要だと考える。